

実践的カリキュラム

健康、人間、環境、看護の4つの概念を基盤に、

豊かな心をもった質の高い看護実践ができるよう、カリキュラムを編成しています。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- 1 看護学の学士力を養うために、看護師、保健師及び助産師に共通する看護学を基盤とした統合的なカリキュラムとする。
- 2 学生の希望を踏まえたキャリア形成を支援し、生涯学習の基盤となる幅広い教養と科学的思考力を育成するために、カリキュラムを編成する。
- 3 健康・人間・環境・看護を主要概念とし、看護基礎科学分野、看護学分野及び総合分野で構成し、各科目をバランスよく配置する。
- 4 看護学分野を発達過程に共通する看護実践と発達過程に焦点をあてた看護実践にわけて教育する。
- 5 少人数による教育や活発な討議の機会を多く設け、学生の主体的・創造的な学習を促進する。
- 6 看護実践能力を育成するために、看護学実習を重視し、看護実践への関心を早期から高め、多様な施設や場における実習を展開する。

※平成29年度改正カリキュラム

区分		1年次	2年次	3年次	4年次
総合分野		●看護基礎セミナー	●文献講読セミナー ○がん看護学	●研究セミナー	●看護総合セミナー ●看護トピックス ●総合実習 ○多職種連携論 ○がん看護学
○へき地の生活と看護					
看護学分野	各看護実習	●対象の理解実習	●日常生活援助実習 ●成人期継続療養看護実習	●周産期看護実習 ●小児期看護実習 ●成人期健康危機看護実習 ●成人期長期療養看護実習 ●老年臨床看護実習 ●老年在宅看護実習 ●精神保健看護実習 ●公衆衛生看護実習	**○助産学実習
	発達過程に焦点をあてた看護実践	●生涯発達看護学概論Ⅰ(周産期) ●生涯発達看護学概論Ⅱ(小児期) ●生涯発達看護学概論Ⅲ(成人期) ●生涯発達看護学概論Ⅳ(老年期)	●周産期実践看護学Ⅰ・Ⅱ ●小児実践看護学Ⅰ・Ⅱ ●成人実践看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ●老年実践看護学Ⅰ・Ⅱ	●小児実践看護学Ⅲ ●老年実践看護学Ⅲ *○助産学概論	●生涯発達看護学概論Ⅴ(リプロダクティブヘルス) **○基礎助産学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ **○実践助産学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ **○実践地域助産学 **○助産管理学
	発達過程に共通する看護実践	●看護学概論 ●実践基礎看護学概論Ⅰ ●ヘルスアセスメント ●看護技術論Ⅰ・Ⅱ ●看護技術演習Ⅰ・Ⅱ ●生涯発達看護論 ●病態学概論 ●生化学 ●栄養学 ●人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ ●免疫学 ●社会福祉論 ●保健医療福祉システム論	●実践基礎看護学概論Ⅱ・Ⅲ ●看護技術論Ⅲ ●看護技術演習Ⅲ ●看護過程演習 ●チーム医療論 ●基礎薬理学 ●臨床薬理学 ●臨床検査学 ●病態学各論 ●微生物学 ●グループ・アプローチ	●精神看護方法 ●地域精神看護方法 ●公衆衛生看護活動論 ●公衆衛生看護方法論 ●健康生活支援技術Ⅰ・Ⅱ	●行政看護管理論 ●地域健康危機管理論 ●看護倫理学 ●看護管理学 ●看護政策学 ●国際看護論 ●疫学
看護基礎科学分野	生活・社会の成り立ち	●社会学 ○法学(日本国憲法含む) ○文化人類学 ●経済学 ○ジェンダー論 ○情報学	●統計学	●統計学演習	●家族社会学 ○法学(日本国憲法含む) ○文化人類学 ○ジェンダー論 ○情報学
	人間の本質の理解	●倫理学 ○芸術と表現 ○スペイン語 ○中国語	●心理学 ○医療英語		○芸術と表現 ○医療英語 ○中国語 ○保健体育 ○スペイン語
	自然の成り立ち	●生物学 ○物理学 ○化学 ○人体科学の基礎 ○医療とバイオテクノロジー		○災害学 ○宇宙学	

●必修科目 ○選択科目 *助産師国家試験の受験資格を得ようとする者には必修となる科目

**助産師国家試験の受験資格を得ようとする者だけを対象に開講されかつ必修となる科目